

令和7年度事業報告

第1 重点事業総括

令和7年度は、警備員に対する教育事業及び警備業務適正化事業を重点に推進した。教育事業として、8月29日（金）京都経済センターにおいて、令和7年度教育管理者研修会を開催し、会員企業の教育管理者94人（68社）、非会員8人（7社）合計102人が参加した。

研修会の第1部では、警察本部生活安全企画課土井慎太郎氏が『適正な警備業務の実施に向けて』と題して講演し、警備員による犯罪の発生状況、警備業者に対する行政処分件数及び具体的な違反事例を示したうえで、法令遵守の徹底を呼びかけた。

また、拘禁刑の創設に伴う欠格事由に係る文言の変更について説明し、今後は拘禁刑の文言が入った新しい誓約書の使用を促した。

続いて、当協会の大島副会長が、標準見積書の活用及び割増料金などの特記事項の記載事例の要点等を説明した。

第2部では、（一社）警備員特別講習事業センター統括課長の邨田昌英氏から『特別講習受付申込システムの概要及び特別講習受講者に対する教育管理者としての指導要領』と題し、システムの概要について説明を受けるとともに受講者への「送り出し教育」の重要性について講演を受けた。

また、10月23日（木）には、会員40人（35社）、非会員4人（4社）合計44人が参加して経営者研修会を開催し、京都府警察サイバー対策本部サイバー企画課の吉岡竜之介氏による「サイバー犯罪の現状と対策」と題する講演を受講した。

年間を通じては、特別講習と事前講習をそれぞれ6回（合同開催を含む）開催し、多くの検定合格警備員を輩出したほか、指導教育責任者の新規及び追加取得講習4回、機械警備業務管理者講習1回を実施した。



第2 公益事業

1 警備員等に対する教育事業

(1) 特別講習

年間事業計画どおり、計6回（合同開催を含む）開催した。

本講習合格率は、73.2%（前年度59.8%）、前年対比13.4%向上した。

種別	区分	回数	本講習			再講習		
			受講者	合格者	合格率	受講者	合格者	合格率
施設警備業務2級		2	102	85	83.3%	15	10	66.7%
交通誘導警備業務2級		2	123	68	55.3%	13	6	46.2%
雑踏警備業務2級		1	53	45	84.9%	1	0	0%
貴重品運搬警備業務2級		1	36	32	88.9%	-	-	-
合計		6	314	230	73.2%	29	16	55.2%

(2) 警備員指導教育責任者等講習

京都府公安委員会から委託を受けて、1号、2号、3号及び4号を各1回、機械警備業務管理者講習を1回開催した。

新規取得講習の合格率は、86%（前年度は1号及び2号を各2回実施で72.7%）、前年対比13.3%向上した。

ア 警備員指導教育責任者講習

種 別	区 分	回 数	新規取得講習			追加取得講習		
			受講者	合格者	合格率	受講者	合格者	合格率
1号警備業務		1	19	16	84.2%	4	3	75%
2号警備業務		1	29	25	86.2%	4	4	100%
3号警備業務		1	2	2	100%	1	1	100%
4号警備業務		1	-	-	-	7	7	100%
合 計		4	50	43	86%	16	15	93.8%

イ 機械警備業務管理者講習

回数	受講者	合格者	合格率
1	6	6	100%

(3) 現任警備員教育

基本教育4時間、業務別教育6時間及び基本+業務別計8時間、業務別2時間など、会員からの要望に柔軟に対応した現任警備員教育を実施した。

(4) 普通救命講習

1月15日(木)、16日(金)の2日間、京都経済センターにおいて、京都市消防局下京消防署の協力を得て、普通救命講習を開催し、心肺蘇生訓練等を実施、受講した23人に対して、「普通救命講習修了証」が交付された。

2 警備業務適正化事業

(1) 教育管理者研修会

第1の重点事業総括で記載のとおり、8月29日(金)京都経済センターにおいて令和7年度教育管理者研修会を開催し、会員企業の教育管理者94人(68社)、非会員8人(7社)合計102人が参加した。

(2) 経営基盤強化等

ア 経営者研修会

第1の重点事業総括で記載のとおり、10月23日(木)京都経済センターにおいて、会員40人(35社)、非会員4人(4社)、合計44人が参加して経営者研修会を開催した。

イ 警備員等に対する表彰

(ア) 優良警備員等表彰

6月5日(木)優良警備員等表彰式を行い、優良警備員(勤務成績優良)30人、優良警備員(模範警備員)5人、警備業教育関係功労者(委嘱講師10年以上)1人をそれぞれ表彰し士気の高揚を図った。

(イ) 永年勤続警備員等表彰

1月6日(火)永年勤続警備員等表彰式を行い、京都府警察本部長・(一社)京都府警備業協会会長連名表彰が警備業教育関係功労の2人に授与され、続いて永年勤続警備員(20年)14人、永年勤続警備員(10年)21人、優良警備員(人命救助)2人、優良警備員(模範警備員)2人を表彰し士気の高揚を図った。



(ウ) 労災事故防止活動に対する表彰

10月23日(木)第24回警備業安全衛生大会において、労働安全衛生・労働災害防止に関するアイデア10点、ポスター12点、標語481点の合計503点の応募作品の中から、各部門の優秀作品作成者10人と、同企画に熱心に取り組んだ5事業所に対し表彰を行った。

ウ 警備業経営講座

機関誌みらいきょうとの「警備業経営講座」コーナーにおいて、社会保険労務士による今年度の監督指導、外国人雇用実態調査、男性育休取得率が初の4割超、「ケア就業者」35年に1285万人など、業務環境の向上に資する記事を掲載した。

エ 「警備の日」広報活動

10月31日（金）午前11時から京都市南区・イオンモールKYOTOにおいて、南警察署と協同で警備の日広報活動を実施した。本年度は協会が作成した「警備の日」タオルや子供向け防犯啓発グッズ（トランプ、自由帳など）の配布や金属探知機を使った子ども向け宝探しゲーム、業界PR動画「静かなヒーロー」の上映を広報委員会と青年部会で行った。



また、10月26日から11月1日の期間、会員各社が車両に「警備の日広報用マグネットシート」を掲示し、府内各地で「11月1日は警備の日」を周知したほか、11月2日の「伏見ふれあいプラザ2025」、11月23日の「消防団フェスタ」に青年部会が参加し広報活動を行った。

(3) 暴力団等反社会的勢力排除対策

ア 暴力団等反社会的勢力排除対策協議会

6月27日（金）ホテル日航プリンセス京都において、「暴力団等反社会的勢力排除対策協議会」を開催し、警察本部担当補佐から「最近の暴力団情勢について」と題する講演をいただき、その講演内容を、機関誌みらいきょうと（第71号）に掲載した。

イ 暴力・違法銃器追放京都府民大会

11月18日（火）ロームシアター京都において開催された、「令和7年度みんなの力で暴力・違法銃器追放京都府民大会」に、宇多会長のほか18社25人が参加し、日弁連民暴委員会幹事大阪弁護士会・森谷長功氏による「カスタマーハラスメント対策について」の講演を受講した。

ウ 不当要求防止責任者講習

11月28日（金）京都経済センターにおいて、第17回不当要求防止責任者選任時講習を開催し、会員企業の担当者63人が受講した。

3 災害支援活動事業

(1) 協定に基づく名簿の作成と報告

京都府及び京都府警察本部と締結している「災害時における交通誘導業務及び警戒業務等の支援に関する協定」及び「同細目協定」に基づき、災害支援活動警備業者名簿を作成し、災害時における出動可能警備員数等を京都府知事及び京都府警察本部長に報告した。

(2) 京都府総合防災訓練への参加

8月31日（日）宮津市の京都府立海洋高等学校、宮津市立栗田小・中学校において、令和7年度京都府総合防災訓練が実施され、当協会を代表して、地元の丹後警備センター株式会社から警備員2名が救出・救助訓練の交通規制に参加した。



4 労働災害防止活動事業

(1) 京都ゼロ災3か月運動

京都労働局が主唱し、安全・健康・快適職場を目指して、危険ゼロの取組による災害ゼロ・健康確保を目的とする京都ゼロ災3か月運動に多くの会員企業が参加し、労働災害ゼロの実現に向けて取り組んだ。

(2) 警備業安全衛生大会

10月23日（木）京都経済センターにおいて、第24回警備業安全衛生大会を開催し、会員35社、40人が参加した。労災事故防止ポスター等優秀作品作成者や事業所に対する表彰の後、協会業務

委員会委員長である大島史朗氏が大会宣言を読み上げ、出席者の拍手によって採択された。

第3 共益事業

1 懇親会の開催

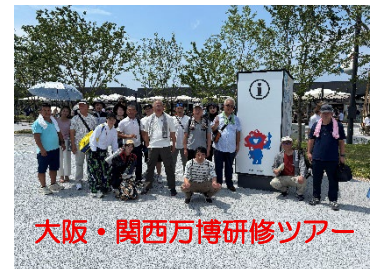
6月5日（木）定時総会後の懇親会には会員等107人が参加したほか、賀詞交歓会には152人が参加して親睦を深めた。

2 ゴルフコンペの開催

5月22日（木）日清都カントリークラブ、10月28日（火）瑞穂ゴルフ倶楽部において、総務委員会主催の第22回、23回みらいきょうと会ゴルフコンペを開催し、合計62人のプレーヤーが腕を競い、親睦を深めた。また、チャリティコンペとして関西盲導犬協会への募金活動も併せて行い、合計41,500円を寄付した。

3 大阪・関西万博研修ツアー

7月1日（火）総務委員会発案による大阪・関西万博研修ツアーを実施し、参加者26人が猛暑の中で各パビリオンや警備の状況を視察した。会場では来場者対応や誘導動線に工夫が見られ、警備員の的確な対応から業界全体の発展が感じられた一方、酷暑下での警備の難しさを再認識した。



第4 役員・委員会等の活動状況

1 理事会

定款に基づく理事会を4回開催した。

2 専門委員会

(1) 総務

令和7年度の年間業務計画を策定した。

(2) 広報

8月18日（月）、10月9日（木）広報委員会を開催し、警備の日における取組について検討し、10月31日（金）京都市南区・イオンモールKYOTOにて、「警備の日」広報活動を実施した。

(3) 業務

7月24日（木）、熱中症予防対策啓発活動「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」を実施し、山鉾巡行に携わっている警備員に、冷却グッズと冷凍ペットボトルのセット100組を配布し激励した。

(4) 青年部会

10月31日（金）イオンモールKYOTO、11月2日（日）伏見区役所において行われた「伏見ふれあいプラザ2025」に参加した。出店した「宝探しゲーム」や「VRトラフィックコンダクター」を使った体験に多くの子供が歓喜した。

また、11月23日（日）梅小路公園において開催された「京都市消防団フェスタ」に昨年に引き続き参加し、携帯用金属探知機を使って「宝物」を探し当てた子供にはお菓子や防犯ロゴ入りの反射材等のグッズを、保護者には「警備の日」ロゴ入りタオル等を配布し、警備業への理解と協力を呼びかけた。

今年度は、警備業におけるカスタマーハラスメント防止に向けての活動の一環として、ワコールサービス(株)山河繁氏に依頼した原画のイラストをもとに動画を作成し、会員向けに発信するとともに京都市内の6警察署（中京、伏見、山科、右京、南、西京の各警察署）に設置されたデジタルサイネージで令和9年9月まで広告として放映し、主にドライバーやライダーに対して、カスタマーハラスメント防止を呼びかけた。

